

精神障害者の自立支援を考える会

ひまわりニュース vol.5 2015.12.28

1年間のご支援ありがとうございます。新年も宜しく申し上げます

*2015年は、「白石福祉施設職員刺殺事件を考えるシンポジウム」(2月)、第1回「さぼーとほっと基金」の助成実施(6月)、助成団体との交流の広がりなど、当会の本格的な活動のスタートとなりました。これも会員の皆様と協力団体のご支援・ご協力の賜で深く感謝申し上げますとともに、迎える新年におきましても引き続き宜しくお願い申し上げます。

札幌市「さぼーとほっと基金」年報に助成内容が掲載されました

*札幌市の「平成26年度さぼーとほっと基金年報」に「木村弘宣メモリアル基金「ひまわり」」の助成内容が掲載されました。

<平成27年度助成>

区分	団体名	助成活動内容	助成額
公募	障がいという名の才能あふれる芸術家たち～生涯学習の旅	発達障がい等を抱える若いアーティストの「3人展」開催(7月)	30万円
指定	認定NPO法人 北海道自由が丘学園	いじめや自閉症などで「不登校」になっている生徒の勉学支援の補強	10万円
指定	NPO法人 北海道若年認知症の人と家族の会	「若年認知症の人の能力を活かし、暮らしを支える実践ガイド」の制作	30万円
指定	一般社団法人 北海道ピアサポート協会	精神障がい等で生きづらさを抱える当事者の「ピアサポートフォーラム2016in北海道」の開催(2月)	10万円
指定	一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会	法人取得を機会に一般市民向けを作成配布する(3月)	10万円
	合計助成額		90万円

「白石福祉施設職員刺殺事件2周年シンポジウム」を開催します

*精神保健福祉士として、白石区の精神障害者福祉施設で働いていた息子弘宣が、入居者によって刺殺された事件から間もなく2周年を迎えます。改めて精神障害者による重大犯罪の問題点と、加害者の社会復帰のための医療観察法の課題について考えるシンポジウムを年明け2月28日(日)に開催致します。裏面の詳細企画をご覧ください。所定の申込書にてFAX又はEメールでお申し込み願います。

白石福祉施設職員刺殺事件 2 周年シンポジウム

～被害者の視点から刑法 39 条・医療観察法を考える

精神保健福祉士として札幌市白石区の精神障害者自立支援施設援護寮で働いていた職員が、入居者によって刺殺された事件から間もなく 2 周年を迎えます。改めて被害者の視点から精神障がい者による重大犯罪の問題点と、加害者の社会復帰のための医療観察法の課題について考えてみたいと思います。

【と き】 2016 年 2 月 28 日（日） 12:30～15:45（受付 12:00）

【ところ】 札幌市教育文化会館 4 F 講堂

札幌市中央区大通り西 13 丁目（地下鉄東西線西 11 丁目駅 1 番出口）

【参加費】 無料

【定 員】 150 名

【企画】

■第 1 部 12:30～13:00 基調報告「息子の死から 2 年・・・今思うこと」

精神障害者の自立支援を考える会

代表 木村邦弘氏（故弘宣父親）

■第 2 部 13:05～15:45 シンポジウム「事件の問題点と今後の課題」

コーディネーター：本田信一郎氏（ノンフィクションライター）

シンポジスト：佐々木寛氏（北海道精神保健福祉士協会会長）

山田 廣氏（弁護士・犯罪被害者の会「あすの会」顧問）

他に精神医療・福祉事業者に要請中

【申込み】 2 月 20 日（土）迄に下記にて F A X 又はメールでお申込みください。

お名前	〒	住 所	電話番号
	—		
職種等		所属団体等	

※定員 150 名に達し次第締め切らせて頂きます。

【主催】 精神障害者の自立支援を考える会

【共催】 一般社団法人 北海道ピアサポート協会

【後援】 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会

【協賛】 社会医療法人共栄会 札幌トロイカ病院

【連絡先】 精神障害者の自立支援を考える会 代表 木村 邦弘

〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 13 丁目 1 番地 90 ダイアパレス植物園Ⅲ901

電話・FAX：(011) 272-7188 E-mail:kimura-himawari@kfa.biglobe.ne.jp